



Oasis meets Books

オアシス・ミーツ・ブックス

本のあるオアシス 本のある人生

2022年4月 vol.17

Oasis meets Books もお蔭様で5年目に入りました。

また、オアシス文庫では昨年一年間に96冊、本の貸し出しがありました。

ここでご紹介いただいた本も複数購入しております。

本は様々な効果をもたらしてくれます。こんな時だからこそ気分を変えて、いつもは読まないようなジャンルの本を読んでみるのはいかがでしょうか。

オアシス文庫が、皆様の豊かな時間作りの一助となりましたら幸いです。（教育委員会 委員長：前田 吉紀）

歴史とは何か / E.H.カー

グループホーム オアシスキズリ / 介護士 牧野 義則

私が20歳の時、専攻していた「西欧史」の参考書として読んだ岩波新書です。イギリスの歴史学者E.H.カーのケンブリッジ大学での講演をまとめた本で、「歴史とは現在と過去の対話である」というフレーズが特に有名です。



考古学ではなく、文献を通して歴史を研究する「歴史学」としては古典的な入門書ですが、今回、改めて読み返してみたところ、現在でも十分通用する内容です。

234頁もあり、学生相手の講演のため、少し難しい箇所もありますが、登場する人名等が分からなくても全く問題ありません。私も最初に読んだ時は、無視して読み進めました。

昨今の知識を楽しむ「歴史ブーム」とは一線を画す、なぜ「歴史を学ぶのか」をまじめに考えた書籍です。



・次回⇒グループホーム オアシスキズリ / 介護士 福田 彩海

峠 / 司馬 遼太郎

特養 オアシス寿安 / 事務長 近藤 篤

今回、私が紹介させていただく本は司馬遼太郎の「峠」です。司馬遼太郎の本は学生の頃から読んでいますが、この「峠」は、改めて読み直してみよう、と思った唯一の本です。



物語は日本の幕末、長岡藩家老の河合継之助が主人公となります。



優勢な官軍か、それとも恩のある幕府、どちらに味方するかという選択を迫られた時、まさかの「長岡藩を独立国家にする」という選択をします。当然、どちらにも味方せず中立を守ることが不可能で、河合継之助の意図とは別に幕府方として戦うことになってしまいます。この結果、河合継之助が第一に考えていた「長岡藩の民衆を守る」という目的は果たすことができず、逆に民衆に大きな苦難を与えることになってしまいました。

結果、民衆のことを第一に考えていたにもかかわらず、その墓は何度も破壊されてしまう程、民衆に長く恨まれる悲しい結末となります。

河合継之助は理想を求めすぎたのでしょうか、それとも信念に生きたのでしょうか。読み応えのある一冊です。

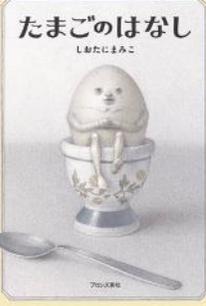
・次回⇒特養オアシス寿安 地域連携課 / 主任生活相談員 川口 拓也

たまごのはなし / しおたに まみこ

デイケア オアシス寿安 / 介護士 溝上 正男

今回は、読むほかに引き込まれる絵本童話を紹介します。

主人公のたまごと、マシュマロ、植木鉢、ソファーにある背面クッション、置き時計、アーモンド、カシューナッツ、ピーナツ、ピーカンナッツ達が登場する物語です。



たまごは目が覚めたばかりで、解らないことだらけです。間違いや悪いこともありますが、ワザとではありません。たまごは、毎日、少しずつ何かを考えているのです。ひねくれているようで、実は、本当の本当のことしか言っていない所が、とても良いと思います。主人公たまごと登場する〇〇との会話の語り口調が、とにかく面白いです。

ページを開いたら最後、誰かに伝えたくてたまらなくなる思いと同時に、自分だけの秘密にしておきたくなる作品です。

大人の心には反省と教訓を…。へたな自己啓発本を読むよりも響きます。皆さんに是非、この絵本童話を読んでいただけたら嬉しいです。

(2021年「たまごのはなし」が海を渡り世界へ) ・第28回ブラチスラバ世界絵本原画展 金牌賞 受賞
・第14回MOE絵本屋さん大賞 第2位 ・第2回TSUTAYA絵本大賞 第2位

・次回⇒デイケア オアシス寿安 / 看護師 沢井 ゆかり

スティーブ・ジョブズ 驚異のプレゼン / カーマイン・ガロ

グループホーム オアシス平野 / 介護士 安藤 文章

私が最初にこの本を知ったのは、営業職として働いている頃で、取引先の部長から「読んだ方がいい」と勧められて読みました。



この本を読み終え、何故、その方が「読んだ方がいい」と言われたかが分かりました。

気づいたことは、こんなに偉大な人物であっても、いかに準備を大事にしているか、ということ。事前に何日もかけて準備とリハーサルを行うこと。そして、想定外を想定していること、です。



印象に残った言葉は「大好きなことを見つけてほしい。仕事というのは人生のかなりの部分を占めるわけだけど、本当に満足するには、すごい仕事だと信じることをするしか方法がない。そして、すごい仕事をするには、自分がすることを大好きになるしか方法がない。まだ見つからないなら、探し続けてほしい。あきらめちゃいけない」という言葉です。

私は、この本を読んだから、仕事を好きになってやることの大事さが分かりました。どんな時も、準備をしてから行動をするように心がけていきます。

・次回⇒グループホーム オアシス平野 / 介護士 篠原 真美

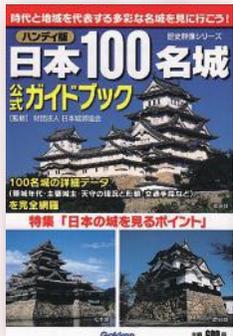
日本100名城 公式ガイドブック / 日本城郭協会

特養 オアシス寿安 生活支援課 / 介護士 寺尾 周子

学生時代、日本史が好きで歴史小説や文献をよく読んでいました。その中から今回紹介する『日本100名城 公式ガイドブック』は、歴史好きはもちろん、そうでない方にもおすすめできる本だと思います。

皆さんは“お城”といえば姫路城のような立派な天守があるものを想像されると思います。姫路城のように創建当時のまま天守が残っている城は弘前城・松本城・丸岡城・犬山城・彦根城・松江城・備前松山城・宇和島城・松山城・丸亀城・高知城で、これを現存12天守といいます。私が実際に行ったことがあるのは、まだ5箇所なので、いつかコロナが落ち着いたら全部行ってみたいと思っています。

コロナ禍でなかなか旅行に行けない今、この本を見てお城巡り気分を味わってみてはいかがでしょうか。



・次回⇒特養 オアシス寿安 生活支援課 / 介護士 宮内 絵美

ころべばいいのに / ヨシタケシンスケ

老健 オアシス デイケア・ロング / 看護師 寺田 寛子

以前、小学生の娘が学校のお友達との関係に困っていることがありました。「あの子はいやなことをするダメな子だ」そう不満をもらす娘に親として何とアドバイスしたらいいのか、考えた末に当たり障りなく「嫌なところだけじゃなく、良いところを見る努力も必要じゃない」と伝えました。もちろん娘は全く納得していない様子でした。

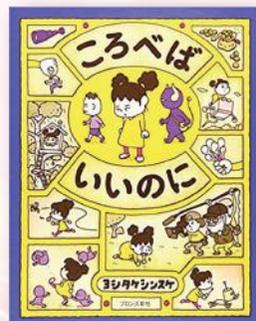
そんなことがあってから、タイトルと可愛らしい挿絵に惹かれてこの絵本をなんとなく手に取ってみました。

読んでみると、なるほど、と何かスッキリした気持ちになったのです。

嫌なものは嫌だけど、それは「アイツ」のせいかもしれない。そう考えたら「あの子」が悪いのではない。

昔、時代劇で「罪を憎んで人を憎まず」というセリフがありました。それをこの本では楽しく、シンプルに伝えてくれています。

自分の気持ちも相手のことも否定せず、ネガティブな気持ちを笑い飛ばしてしまえる強さ、しなやかさを持つために、子供だけでなく、大人にもおすすめしたい一冊です。



・次回⇒老健 オアシス デイケア・ショート / 介護士 切通 竜彦

Dr.白澤 食べ合わせの天国と地獄 / 白澤卓二

老健 栄養科 / 調理師 喜多 清

“食品同士の食べ合わせによって体に影響が及ぶ”という考えは、古くは「合食禁」と言い、生活の知恵として広まっていた。

ただし、江戸時代に考案され、後世まで伝えられている食べ合わせは「陰陽五行説」に則った「高級な物ばかり食べるのは贅沢でよくない」といった教訓めいたものが多くあり、科学的な根拠がある訳ではないそうです。

例えば、昔から悪いとされている「鰻と梅干し」の食べ合わせは、脂肪分の多い鰻の消化を梅干しのクエン酸が助けるため、実は科学的にみると良い食べ合わせだそうです。

また、「サンマと緑茶」の食べ合わせは、魚に多く含まれるDHAには脳の働きを良くして認知症を予防する効果が期待できるものの酸化されやすい、という弱点がありますが、緑茶に含まれるカテキンは抗酸化作用が高く、DHAの酸化を防ぐ効果があるそうです。

食は健康長寿を支える基盤です。食事から摂取する栄養素の組み合わせによって、さまざまな恩恵を得ることができます。

様々な良い食べ合わせを、試してみたいと思います。

・次回⇒老健 配食 / ドライバー 金谷 秀夫



オアシス文庫 recommend



もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら / 岩崎夏海

この本は2011年に実写化された映画になっており、興味はあったものの手に取ることがなかったので、この機会に読みました。

この本を読んで、マネジメントとはチームワークを發揮させることなのだ学びました。

ただし、そのチームワークは、一般に信じられているような「お互いの友情と信頼」によるものではなく、各自が求めるものを手に入れるために比較優位を最大限に活用したチームワークです。「チームワークに、全人格的にベタベタな一体感が必要ない」と聞いて興味を持った方は是非、読んでみてください。

これは教科書なので「現実には教科書通りにはいかない」ことを頭に置いておく必要がありますが、「現実」に教科書の「公式」をどう当てはめてみればよいか、が非常にわかりやすく書かれています。ビジネスなどにも活用できるのではないかと思います。

手に取る機会がある方や興味がわいた方へ。お勧めの一冊です。(教育委員会:下坂元 喬也)

老健入り口の書棚「オアシス文庫」から貸し出できます▶



編集後記

学問として文献から読み解く歴史、人の生き様から思いを馳せる歴史、往古の証人でありながら物言わぬ名城から見る歴史、
図らずも「歴史」への入口が大きく開いた気がして、3冊とも読んでみたくります。

大人にも沁みそうな絵本は面白そうで、食べ合わせの本の紹介は初め

で、どれもすっごく気に入ります!! S.ジョブズは安藤さんにお借りしました☆

毎号、7名の方が語られる「読みどころ」にもとても興味がひかれます。今年もまた、7本のバトンが繋がっていきますよう、ご協力をどうぞよろしくお願い致します。

oasis
おかげさまで25th Anniversary

教育委員会

(教育委員会:中島美和子)